

We need an umbrella on rainy days!

Meishu Hitachi Times

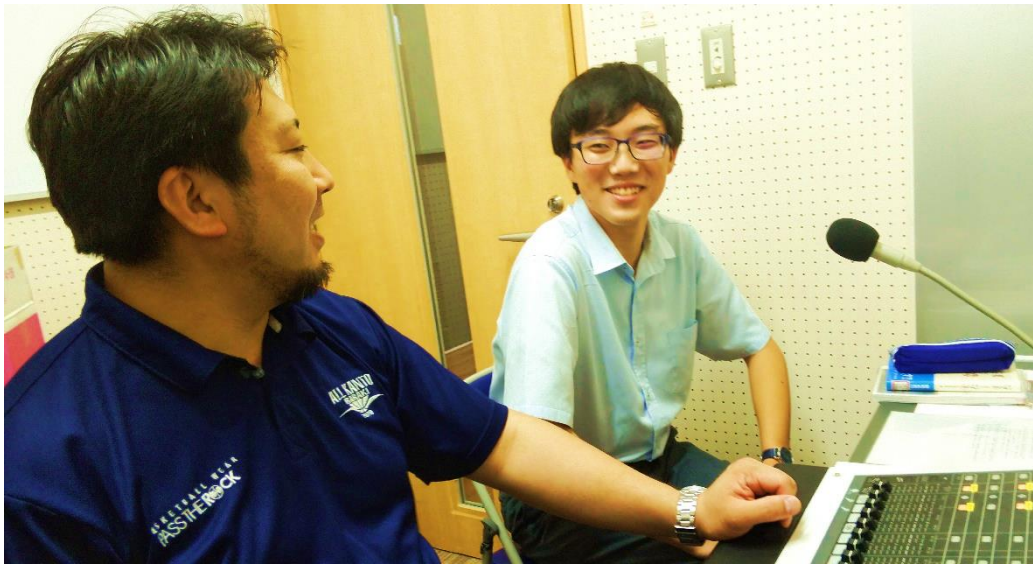
Written by 3-1 Hiroswa,
3-1 Aoki, 1-5 Sakimura

No.3 Since 2020

30th JUNE . 2020.

Kaminecho3-2-26 Hitachi City Ibaraki Japan

☎0294-21-6328



(左：パーソナリティの筑波先生、右：この日のゲストの3年生太田君)

“Meishu Radio” Lunchtime Talk Show has started!

新型コロナウイルスの脅威が徐々に治まり、新しい生活様式の中で学校生活がスタートした。それに伴い、昼休みの時間に変化が起きている。皆さんは知っていますか？

「Meishu Radio」が2020年から始まった。メインパーソナリティを務めるのは、生徒指導部長の筑波大学出身の筑波大先生である。筑波先生に「Meishu Radio」についてインタビューした。

はじめたきっかけは？

昼休みを楽しい時間にするためにできることはないかと考え、始めました。昔から、「笑っていいとも！」や「徹子の部屋」などのトーク番組が好きでした。自分もトークによって、先生方や生徒の皆さんの隠れた魅力を多くの人に伝えられたら良いなと思っています。

呼びたい人はいますか？

「全教員と全校生徒の魅力を伝えたいと思っています。また、たまには外部の方も呼んでみたいですね。市長とか…。」

「ここを聴いてほしい」ポイントは何？

「ゲストの話ですね。知っている人の意外な一面や、知らなかった人と自分の共通点などを知って、聴いている人が、同じ学校で生活

する人たちに親近感をもってもらえたいです。」

生徒の皆さんに伝えたいことは？

「想像することの大切さです。ラジオの魅力は「見えないものを自分の頭で想像する楽しさ」です。そんなラジオの魅力伝えていきたいです。」

晃耀祭や大会が中止となり、1~3年生思うことはそれぞれ。3年生の中には、中止となってしまい、残念に思っている人も数多い。そんな中でも、毎日のラジオを通して、小さな面白味や話題を生徒の皆さんが感じられれば良いと切に思う。

(取材 3-2 青木)

第12回晃耀祭中止 ミッキー上田のライブは2021年延期

6月17日に開催された生徒総会にて、晃耀祭の実施について審議が行われ、



(平成30年度の様子。中央がミッキー上田)

ではどんな企画が出て来るか楽しみです。」

1人の先生にインタビューしただけでも、熱く、期待する気持ちが伝わってきた。今回の決定は残念であるが、1,2年生には、来年の熱量に繋げてほしい。

(取材 3-1 廣澤)

2020年「チャイム」廃止

休校期間も終わり、学校生活も徐々に通常通りに戻りつつある。

そんな中、昨年度と大きく違うのは、「チャイムがない」ということだ。

昨年度まで、授業の開始を知らせていたチャイムが、今年度から廃止となった。生徒からは、「チャイムがないと不便」「あったほうが過ごしやすい」などの声が上がっている。

この件に関し、教務部長の大津先生に話を伺った。

チャイムをなくす、という案は去年からすでに出ていた。そこに、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休業が始まり、生徒が学校に来ないので、チャイムを鳴らさなくなったことをきっかけに、チャイムの廃止に踏み切った。「チャイムが鳴るから動き出す」のではなく、自分で時間を管理できるようになってほしい。

チャイムのない生活に慣れない人も多いだろうが、1人でも多くの方が、自律した生活を送れるように、私自身も心がけていきたい。

(取材 1-5 崎村)



(イメージ)

女子バスケット部伝統行事 コートネーム授与

どの部活動にも特有の『文化』が存在する。

本校の女子バスケットボール部では、毎年、3年生から1年生に「コートネーム」が贈られる。5月23日の自主練習終了後、コートネームの授与が行われた。

「コートネーム」とは、バスケットボールのチーム内で用いられるニックネームのことで、練習や試合の際はこれらで互いを呼び合う。女子のチームで見られ、男子チームでコートネームを設けるのは稀である。

この日、新入部員の1人ひとりに、3年生から、コートネームと、その由来が伝えられ、コートネームがデザインされた記念パネルが贈呈された。このパネルは3年生の手作りで、中には



(コートネームもらった新入生達)

緻密な切り絵が施された芸術的なものもあった。

コートネームの由来には、各選手の長所や期待するチーム内の役割などが反映されていた。臨時休業や分散登校で、共に練習する時間が十分に確保できないなかでも、1人ひとりの良さを観察し、見抜く上級生たちに驚かされた。

3年生の奈良美咲さんは自らが1年生であった2年前を思い出しながら、「自分たちが先輩たちから教わったことを、後輩に、プレーだけでなく、人間性も伝えて成長できるように頑張ろうという思いで渡した。」と語った。このような活動は文化として、今後も継承されていって欲しい。